

発行日 2022年1月15日
発行人 田辺 証 夫
編集人 小堀 日出春

VOICE

NO. 125

LMI世界宣教会
LM-Japan

振替 00110-1-91993

LMI世界宣教会はリーベンゼラ・ミッション・インターナショナル（LMI）に加盟している日本の宣教団体です。

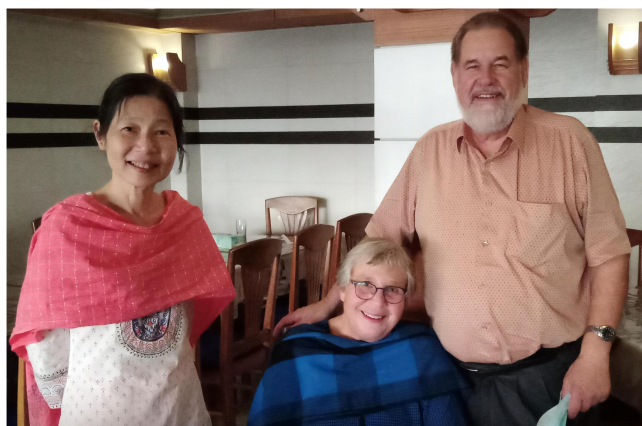
善をもって悪に打ち勝ちなさい

バングラデシュ医療宣教師
近藤 恵

みなさまお元気ですか？私は、ビザが切れ11月21日に帰国しました。2月中旬にコロナ禍の中、バングラデシュに戻りわずか9か月ですが、様々な恵みがありました。

10月のことです。学生と一緒に小手術をしていました。彼女は疲れたのか大きなあくびをし「T先生はいないの？」と他の学生に聞きました。失礼だなと思いつつも「私も助手をしながらあくびをしたことがあるよな」と思い、何も言いませんでした。家に帰ってから、前にも似たようなことがあったのを思い出して「全く何でこんな失礼なことができるんだろう」と考えていました。そんな時、私の頭に浮かんだのは「善をもって悪に打ち勝ちなさい」というみことば。

数日後、その学生と一緒に帝王切開をやりました。



今回の帰国直前の近藤医療宣教師（左）。LMIバングラデシュ チームリーダー、ケストナー夫妻と一緒に

【祈りの課題】

- 新しいビザがスムーズに与えられるように。
- 仕事量と責任の膨大なドクター・ルーシーが守られるように。
- 脳出血の後遺症があるドクター・タポシュの回復のために。
- 母と姉の救いのために。

みことばを胸に、できるだけ丁寧に説明し、最後に創の周りをきれいにするのも普段は学生に任せるのですが、私も手伝いました。その後、彼女の態度が変わってきたのです。私が緊急の帝王切開をするというと「いいニュース」と言って、他の学生に知らせに飛んでいきます。それと同時に、他の学生の態度も少し変わり、嬉々として手伝ってくれるようになったのです。

11月、帰国する私のために持たれた祈りの時に部屋からあふれるほどの学生やスタッフが集まりました。様々なあいさつの後、最期に一人の学生が登場しました。そして言ったのです。「megumi senseiにたくさんのかんことを教わりました。もし、私たちの誰かが、senseiに嫌な思いをさせたことがあったとしたら、赦してください」と。同じような意味のことを第4期が終わって日本に帰る前に院長先生のドクター・タポシュが言っていたことがありました。そして「ああ、そうなんだ」と思いました。

第4期は、私が早く日本に帰ればよいとみんなが思っているような気がして、精神的にとってもつらかった時ですが、サタンが働いて私がそう思い込んでいるだけなのだと思います。なのでドクター・タポシュの言葉が具体的に何のことを言っているのかはわかりませんでした。でも今回も同じことを言われたということは、一部ではあっても、私に嫌がらせをしていた人がいたということなのでしょう。

この祈りの時の後、嬉々として私と一緒に写真を撮ろうとする学生の列が延々と続きました。この学生たちの列を見ながら、私はサタンに勝利したことを確信したのです。

【近藤恵医療宣教師を支える会】

〒329-0403 栃木県下野市医大前3-7-1

☎0285-44-7564 自治医大前キリスト教会気付

e-mail: meg0_02007@yahoo.co.jp

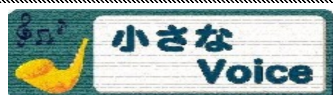
【現地】 Garo Baptist Convention

Christian Health Project

Joyramkura.p.o. Haluaghat 2260

Mymensingh, BANGLADESH

だれに対しても、悪に悪を報いることをせず、すべて人が良いと思うことを図りなさい。



小倉 泉
LMI世界宣教会理事



「宣教 — 祈りの 積み重ねの先に」

クリスチャンにとって人が救われることほど嬉しいことはないだろう。それが自分の家族や親しい人であればあるほど嬉しいに違いない。だからこそ私たちはまだ信仰に導かれていない家族や友人たちに何とかして福音を伝えようとする。しかし、家族や親しい友人たちほど伝道しにくいという現実があるのも事実だろう。私の口から出る聖書の教えと、私自身の生き様が必ずしも一致していないことがある。それどころか、時にはとてつもなく隔たっていることがある。その現実を彼らは知っている。「お前が言っていることとやっていることとは違うじゃないか」といくらでも彼らは反論できるからである。自分の現実と聖書の教えとの間にあるギャップをわきまえないで語るなら、証しするどころか逆に彼らを信仰から遠ざける可能性もありうるだろう。

しかし、聖書は「みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くても」(Ⅱテモテ4:2)と命じている。また、私たちはキリストの証人(使徒1:8)であり使節(Ⅱコリント5:20)であるとも言われている。だから福音を伝える責任がある。伝えたいし伝えなければならない。しかし、そうすることで遠ざけるかもしれない。このジレンマで苦闘した方、今まさに苦闘している方も大勢いるに違いない。これから苦闘する方も多いだろう。

解決策があれば良いのだが、残念ながら私の中に確かなものは何もない。ただ一つ言えることは、救われてほしいという私たちの思いである。ある老婦人は結婚してから60年以上夫が救われるように祈って来た。ある姉妹は母親とともに50年以上にわたって、父親が救われるように祈って来た。その間に、何度も涙を流したに違いない。ダメだとあきらめかけたこともあったに違いない。でも、信仰を奮い立たせて祈り続けた。その結果、その夫も父親も、それぞれの時に、こちらが拍子抜けするくらいあっさりと救われたのである。

救われてほしいという私たちの願いと祈り。その先に宣教のみわざがある。

(自治医大前キリスト教会牧師)



◇2021年チームリーダー・カンファレンス

12月初旬、今年のチームリーダー・カンファレンスは、Coronaの影響で2020年同様、オンラインのみで行われました。今年のメインテーマは、4つの戦略的構想の1つである「教会開拓伝道」でした。特に、全世界の開拓伝道活動の共通点と相違点についての交流は貴重なものでした。日本であれ、ザンビアであれ、スペインであれ、私たちは教会開拓者、チャーチプランターとして直面しているさまざまな課

題を共有しています。以下のような最大の共通課題のためにお祈りください。

- ・より多くの国内チャーチプランターのために。
- ・異文化開拓伝道チームのパートナー 探しのために。
- ・若手リーダーの育成・奨励のために。
- ・宣教の心を持ち続ける教会のために。

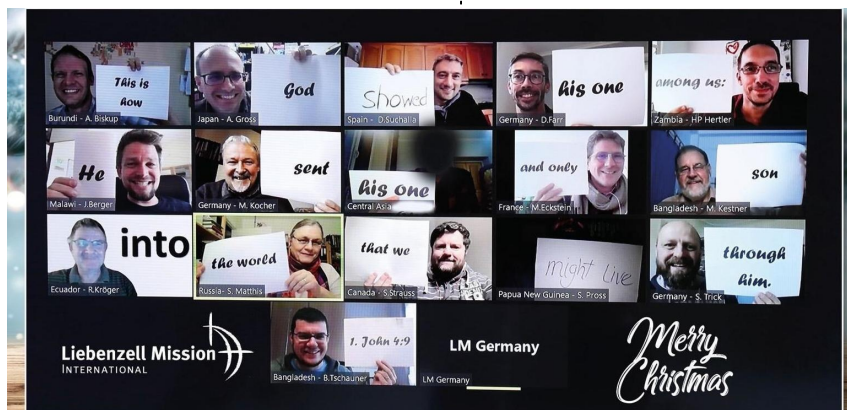
新たに計画された各国の教会開

拓伝道プロジェクトのためにもお祈りいただければと思います。

桜川、稲城(日本)、ナント、リヨン、ラ・ロッシュ(フランス)、キトー(エクアドル)、ベルリン、ロストック(ドイツ)、バレンシア(スペイン)

(アンドレアス・グロース：
LMI-Jチームリーダー)

▼カンファレンスに参加した各国のチームリーダー。上段左から2人目がグロース師



New York Report

ニューヨーク周辺邦人宣教・宣教師
笹川雅弘・由利子

感染再拡大の中での宣教活動

秋から年末にかけ日本とは対照的に感染者数が急増しているニューヨーク州ですが、できる限りの感染予防対策の中、子どもクリスマス会およびゴスペルコンサートが行われました。

子どもクリスマス会

計22名の子どもたちが参加し、ゲームでは3歳から12歳までの子どもたちが力を合わせて頑張り、楽しい時間を過ごしました。高校生のボランティアたち6人による生誕人形劇とバイブルメッセージには全員真剣な眼差しを向けていました。

ゴスペルコンサート



コンサート直前に出演者は全員PCR検査を受けて陰性を確認し、大人22人、子ども20人が舞台上で歌声を響かせました＝写真。会場に来られた出場者のご家族の方々も一緒になって盛り上がり、終了後もしばらくは

【祈りの課題】

- 教会につながっている求道者たちに信仰が与えられるように。
- 子どもクリスマス会、ゴスペルコンサート等をきっかけに教会とのつながりを持たれた求道者ご家族が今後も教会との絆を深め、求道そして救いへと導かれるように
- 帰国予定の教会員と求道者の今後の信仰のために。
- 宣教師夫妻の健康が守られ経済的必要性が満たされるように。

感動の余韻がおさまりませんでした。この感動が主の救いによる感動へとつながってほしいと願っています。

クリスマス礼拝で 祝福のバプテスマ



クリスマス礼拝で受洗したT君

教会員の子弟であるI.T.君（10歳）が12月19日の礼拝でバプテスマを受けました。バイリンガルであるT君は結局、証しを英語で話すことを選び、牧師が同時通訳をするという形になりました。小さい頃から両親とともに教会に通うことを楽しみにしていたT君ですが、アクションバイブル（英語の聖書のマンガ版）が決心へ向けて大きな転機となりました

求道者の動向

今年の9月3日から礼拝に参加され熱心に求道されていた方が、11月に帰国されました。近所の教会をいくつか紹介し連絡を取り合っています。また、来年3月に帰国予定の求道者が、現在、アメリカにいる間に受洗するかどうかを検討していらっしゃいます。

教会員の動き

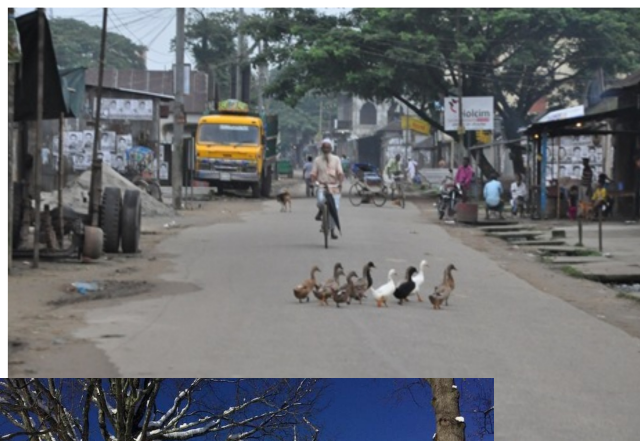
9名の教会員のうち、2名の教会員が来年3月に帰国することが正式決定いたしました。帰国前までの限られた期間ではありますが、キリスト者としての学びをしっかりと行いたいと思います。

連絡先：LMJ世界宣教会 熊久保公義
電話：045-931-3312
Mail: kimikuma1126@gmail.com
HP: <https://nymissionsasakawa.wixsite.com/support>

LMJ 総会案内

2021年も終わり、新しい年を迎えました。旧年中もLMJの働きを覚え、熱い祈りのサポート、また尊いご支援をいただき、主にあって心より感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染の収束がなかなか見られない中、ここまで必要が満たされ、福音宣教の働きが続けて来られましたのは、日本国内におられながらも、諸教会、また愛する諸兄弟の祈りにおける海外宣教の働きがあり、またその祈りを聞いてくださる主の確かな助けあってのことと信じ感謝し御名を讃えます。

つきましては、LMJは、昨年主が与えてくださった恵みを数え、主の前に感謝と祈りをささげるべく、右記の日程で総会を開催いたします。このような状況ですので、ZOOMを併用しての開催となります。オンラインでも参加可能な方は、LMJ事務局(e-mail: LMJ@outlook.jp)までお問い合わせください。ZOOMのミーティングIDをお知らせいたします。



⑤バングラデシュの街
中の様子
⑥NYの街
み教会が入るリッジ
ウェイ教会

日時: 2022年2月19日 (土)
午後1時~3時
場所: JECAかもい聖書教会
奨励: 村上 正道理事
(JECA湘南のぞみキリスト教会)

理事会便り

★近藤恵医療宣教師はビザ取得のため一時帰国中です。取得し次第第5期の働き継続のためにバングラデシュに向かいます。ビザ取得のため、またドクター・タボシュの健康の回復、責任を担っておられるドクター・ルーシーの働き、病院の経営のためにも続けてお祈り下さい。同刻の祈りにもご参加ください。

★笹川雅弘・由利子宣教師夫妻の働きのために。ゴスペルの働き、パイブルクラスなどの働きを含め、すべての働きが救いのために用いられ、体力などの必要も備えられます様に。たんぽぽミニストリーの祝福のため、人的・経済的な必要のためにも続けてお祈りください。

★各宣教師を送り出したそれぞれの支える会、また理事会の働きが、宣教師を正しくサポートするために用いられますように。宣教師志願者が

起こされた時の十分な備え。毎月行われている理事会祈禱会が祝福されるように。

★世界宣教への思いがある方、ご連絡ください。ともに祈りましょう。

【祈り】「ですから、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。」

(マタイ 28:19)

(田辺証夫・LMI世界宣教会理事長)

LMI世界宣教会

(LM-J 本部& ☎226-0003 横浜市緑区鴨居2-29-4(かもい聖書教会気付) ☎&Fax 045-931-3312)

会計事務局) e-mail: LMJ@outlook.jp

→ 献金送金の際、「ゆうちょ銀行通帳」から電信振替(ATM)をご利用されると振替用紙より割安で送金できます。

(LMI) <http://www.liebezell.org/> (ドイツ語), www.liebenzell.ca/ (英語) 郵便振替 00110-1-91993「LMI世界宣教会」

【常任理事】田辺証夫(理事長 lmijapan.tanabe@gmail.com) 熊久保公義(副理事長&書記) 村上正道(会計) アンドレアス・グロース(LMI担当) 小倉 泉(Bg) 立石聖美 【協力理事】木島正敏 兵藤陽子 立石尚志 小堀日出春(Voice編集)

【監事】近藤泉 櫛田信 【会計事務】安藤真里 佐藤かおり